

## 環境マネジメント

### 日野自動車「2015年 環境取り組みプラン」

2010年環境取り組みプランはこちら⇒

#### 世界から信頼される商用車メーカーを目指して

日野自動車は、2011年度から2015年度までの環境への取り組み実行計画として、「2015年環境取り組みプラン」を策定しました。

この実行計画では今後予想される社会動向を踏まえ、社会の生活基盤を支える商用車メーカーとして、積極的に環境課題に対応していくため、次の4つの枠組みで21項目の目標を設定し、活動を推進していきます。

- 1) 低炭素社会の構築
- 2) 循環型社会の構築
- 3) 環境保全と自然共生社会の構築
- 4) 環境経営・環境マネジメント

#### 目標設定項目

##### 1) 低炭素社会の構築

日野は、トラック・バスの燃費性能の向上および次世代車の開発・普及を通じて、低炭素社会の構築に貢献していきます。また、その生産段階・販売段階等においても、東京都内に工場を持つ唯一の自動車メーカーとして東京都環境確保条例の規制値をクリアする目標値を定め、CO<sub>2</sub>排出量の低減を推進します。加えて、お客様に対するエコドライブ啓発活動を充実・拡大します。

##### 2) 循環型社会の構築

日野は、製品の設計・開発段階から資源有効利用に配慮し、リサイクル設計をさらに推進します。また、生産から廃車に至るすべての段階で発生する排出物を低減し、再資源化を推進していきます。また各国の自動車リサイクルに係わる法規に確実・適切に対応します。

##### 3) 環境保全と自然共生社会の構築

日野は、各国各地域の大気環境の改善に貢献するため、低排出ガスを積極的に市場投入します。また、製品に含まれる化学物質の管理を充実させるとともに、より環境負荷の少ない物質への代替を推進します。自然共生社会の構築にむけて、生物多様性への配慮に取り組むほか、各種社会貢献活動を推進します。

##### 4) 環境経営・環境マネジメント

上記の取り組みをグローバルで確実に推進していくために、日野単独ではなく、国内外のグループ会社と連携して環境マネジメントを推進していきます。国内外のグループ会社それぞれが、取り組みプランを策定し、具体的な目標をもって活動を推進していきます。また、従業員の環境意識向上、積極的な情報公開に努めます。

#### ■2015年環境取り組みプラン

枠組み	分野	No.	項目	具体的な実施事項・目標等
開発・設計		1	エネルギー多様性をふまえた次世代車の開発と普及促進	<電気エネルギー> <ul style="list-style-type: none"> <li>• HV(ハイブリッド車)：新型HV車を開発し市場投入</li> <li>• IPS(非接触給電)：実用化に向けたIPSバスの開発</li> <li>• FC(燃料電池)：FC車の研究と開発</li> </ul> <代替燃料> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新燃料：GTL燃料対応車の研究と開発</li> <li>• バイオ燃料：バイオ燃料対応車の研究と開発</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界トップクラスの燃費水準の達成を目指した技術開発</li> </ul>

低炭素社会の構築	生産・物流	2	各国、各地域でトップクラスの燃費性能を目指す開発と各国基準への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>-日本：平成27年度燃費基準の確実な達成</li> <li>-米国：2014年新大型燃費/温暖化効果ガス基準の達成</li> <li>-欧州：次期規制に向けた燃費向上技術の開発推進</li> <li>-中国：新燃費基準の着実な対応</li> <li>-その他の地域：燃費規制に対する対応技術の推進</li> </ul>										
		3	生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 低炭素型生産体系構築に向けた全社活動の推進</li> <li>• 低CO<sub>2</sub>生産技術の積極導入と日常改善によるCO<sub>2</sub>低減活動</li> <li>• 再生可能エネルギーの活用検討</li> </ul> <p>エネルギー起源CO<sub>2</sub></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>12年目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">グローバル</td> <td rowspan="2">台当たり排出量</td> <td rowspan="2">08年度比4%減</td> </tr> <tr> <td>国内連結</td> </tr> <tr> <td>日野</td> <td>排出量</td> <td>90年度比12%減 (08年度～12年度平均)</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	12年目標	グローバル	台当たり排出量	08年度比4%減	国内連結	日野	排出量	90年度比12%減 (08年度～12年度平均)
		地域	項目	12年目標										
	グローバル	台当たり排出量	08年度比4%減											
				国内連結										
	日野	排出量	90年度比12%減 (08年度～12年度平均)											
	4	物流活動における輸送効率の追求とCO <sub>2</sub> 排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 輸送効率の一層の向上によるCO<sub>2</sub>低減活動の推進</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>12年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>輸送量当たり排出量※</td> <td>08年度比12%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">目標管理と低減推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>※輸送量…荷量 (ton) × 輸送距離 (km)</p>	地域	項目	12年度目標	国内連結	輸送量当たり排出量※	08年度比12%減	海外	目標管理と低減推進			
地域	項目	12年度目標												
国内連結	輸送量当たり排出量※	08年度比12%減												
海外	目標管理と低減推進													
販売	5	販売分野における省エネ活動の徹底とCO <sub>2</sub> 排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国内外販売拠点における日常改善、各種事例の横展開による省エネ活動の徹底</li> </ul> <p>⇒年率1%以上の計画的なエネルギー原単位の低減</p>											
社会との連携	6	気候変動政策への積極的な貢献と発言	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 経団連、自動車工業会等を通じた低炭素社会構築への取り組み推進</li> <li>-環境政策議論、枠組み作りへの参画</li> <li>-自動車工業会等と連携した統合的取り組みの推進</li> </ul>											
	7	道路交通セクター（運輸部門）における統合的なCO <sub>2</sub> 削減取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IT、ITS技術を活用した交通流改善への取り組み貢献</li> <li>• エコドライブ啓発活動への取り組み推進</li> <li>-国内・海外販社での講習実施</li> <li>-お客様へのエコドライブ認定証の発行拡大</li> <li>-お客様の使い方に応えた物流効率の高い車型の開発</li> </ul>											
枠組み	分野	No.	項目	具体的な実施事項・目標等										
開発・設計		8	資源の有効利用に配慮したリサイクル設計の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 解体性を考慮した、取り付け構造への取り組み</li> <li>• リサイクル材使用部品の拡大</li> </ul>										
				<p>&lt;排出物・最終処分量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歩留まり向上等の発生源対策推進</li> <li>• 社内再利用の促進による排出物の低減</li> <li>• 有価物の日野グループ内活用促進</li> <li>• 最終処分量ゼロ化</li> </ul>										

循環型社会の構築	生産・物流	9	生産・物流における排出物の低減と資源の有効利用	<table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>対象</th> <th>項目</th> <th>12年度目標</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">国内連結</td> <td>排出物※1</td> <td>台当たり発生量</td> <td>08年度比16%低減</td> </tr> <tr> <td>最終処分量</td> <td colspan="2">ゼロ※2</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>廃棄物</td> <td colspan="2">目標管理と低減推進</td> </tr> </table> <p>※1：有価物を含む廃棄物の社外排出量          ※2：焼却灰も含めた埋立処分量が、廃棄物等総排出量（廃棄物量＋リサイクル量）の0.5%以下</p> <p>&lt;梱包包装資材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リターナブルラック使用対象国拡大</li> <li>補給部品リターナブルラック使用の拡大</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>12年度目標</th> </tr> <tr> <td>国内連結</td> <td>出荷容積当たり使用量</td> <td>08年度比34%低減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">目標管理と低減推進</td> </tr> </table> <p>&lt;水使用量&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省水技術の積極導入</li> <li>日常改善による節水推進</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>12年度目標</th> </tr> <tr> <td>国内連結</td> <td>台当たり使用量</td> <td>08年度比18%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">目標管理と低減推進</td> </tr> </table>	地域	対象	項目	12年度目標	国内連結	排出物※1	台当たり発生量	08年度比16%低減	最終処分量	ゼロ※2		海外	廃棄物	目標管理と低減推進		地域	項目	12年度目標	国内連結	出荷容積当たり使用量	08年度比34%低減	海外	目標管理と低減推進		地域	項目	12年度目標	国内連結	台当たり使用量	08年度比18%減	海外	目標管理と低減推進	
				地域	対象	項目	12年度目標																														
				国内連結	排出物※1	台当たり発生量	08年度比16%低減																														
最終処分量	ゼロ※2																																				
海外	廃棄物	目標管理と低減推進																																			
地域	項目	12年度目標																																			
国内連結	出荷容積当たり使用量	08年度比34%低減																																			
海外	目標管理と低減推進																																				
地域	項目	12年度目標																																			
国内連結	台当たり使用量	08年度比18%減																																			
海外	目標管理と低減推進																																				
環境保全と自然共生社会の構築	販売・リサイクル	10	資源有効利用のグローバルな推進強化 グローバルな自動車リサイクル法への対応推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な解体方法、ツールの開発とグローバルな情報提供</li> <li>グループ内での中古部品利用拡大に向けた取組推進</li> <li>日本：リサイクル率トップレベルの維持と、法改正への適切な対応</li> <li>中国、新興国：各国法規への適切な対応</li> </ul>																																	
				開発・設計	11	各国・各地域の都市大気環境改善に資する排出ガス低減	各国、各地域の都市大気環境改善に資する低排出ガス車の導入 -日本：ポスト新長期規制対応車を継続して市場導入 2016年以降の次期排ガス規制の対応技術の研究開発 -米国：US10適合車の市場導入 -欧州：次期規制EURO6の研究開発と対応 -中国：EURO5レベルの導入推進 -一般国：低排出ガス車（EURO3、4レベル）の導入推進																														
							12	製品含有化学物質の管理充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな製品含有化学物質管理の推進</li> <li>-製品に含有される多種類の化学物質管理の徹底</li> <li>-環境負荷のより少ない物質への代替技術の開発と代替推進</li> </ul>																												
生産	13	生産活動における環境負荷物質の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗装工程における塗料、シンナー使用量低減等</li> <li>日常改善によるVOC低減活動を推進</li> </ul> <p>ボデー塗装</p> <table border="1"> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>12年度目標</th> </tr> <tr> <td>日野</td> <td>塗装面積当たりVOC排出量</td> <td>24g/m<sup>2</sup>以下 (全ライン平均)</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">VOC排出量低減活動を展開</td> </tr> </table> <p>その他塗装</p> <table border="1"> <tr> <td>国内・海外</td> <td>VOC排出量低減活動を展開</td> </tr> </table>	地域	項目	12年度目標	日野	塗装面積当たりVOC排出量	24g/m <sup>2</sup> 以下 (全ライン平均)	海外	VOC排出量低減活動を展開		国内・海外	VOC排出量低減活動を展開																							
			地域	項目	12年度目標																																
日野	塗装面積当たりVOC排出量	24g/m <sup>2</sup> 以下 (全ライン平均)																																			
海外	VOC排出量低減活動を展開																																				
国内・海外	VOC排出量低減活動を展開																																				

	社会との連携	14	生物多様性への取り組み 自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国、各地域での周辺生態系配慮の実施</li> <li>従業員の生態系保全への意識向上とボランティア活動等の促進 (「日本経団連生物多様性宣言」に基づく活動推進)</li> </ul>
枠組み	分野	No.	項目	具体的な実施事項・目標等
環境経営	マネジメント	15	連結環境マネジメントの強化、推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国、各地域でのトップレベルの環境パフォーマンス確保に向けた活動の実施</li> <li>各国、各地域での環境法令の順守と環境リスク未然防止活動の強化</li> <li>海外生産拠点でのエリアマネジメント体制の導入と合理的な取り組み推進</li> <li>国内生産拠点での各社相互監査による環境マネジメントレベルの向上</li> </ul>
		16	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕入先：仕入先における順法対応と部品、原材料、副資材、生産設備等に含まれる環境負荷物質の管理充実および環境パフォーマンス活動の要請</li> <li>国内販売：販売会社環境マネジメントシステムによる環境活動の推進</li> <li>海外販売：環境意識啓発活動の継続実施</li> </ul>
		17	グローバルなCO <sub>2</sub> マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動全般におけるCO<sub>2</sub>マネジメントの企画と推進</li> </ul>
		18	製品開発における環境マネジメントECO-VASの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発段階での車両環境アセスメントシステム（ECO-VAS）による環境目標管理の着実な推進</li> </ul>
		19	サステイナブル・プラント活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然と調和する工場づくり ⇒低CO<sub>2</sub>生産技術の積極導入、日常改善、再生可能エネルギーの活用、工場の森づくりの推進</li> </ul>
		20	環境教育活動の充実と推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の環境意識向上に資する環境教育の体系的な実践</li> <li>従業員の環境意識の調査の継続実施と、結果に基づく意識向上への仕掛け</li> <li>トヨタグループで一体となった環境月間活動のグループ展開</li> </ul>
		21	環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国、各地域での製品環境技術情報の提供充実（各種展示会への出展等）</li> <li>各国、各地域でのCSRレポート等の発行継続と発行拠点の拡大</li> <li>各国、各地域での環境コミュニケーション活動の充実</li> </ul>